

車向け樹脂成形部材事業

レゾナック、森六に譲渡

レゾナックは24日、自動車関連の樹脂成形部材事業を化学品商社と樹脂成形の両機能を持つ森六に譲渡すると発表した。同事業ではグローバルな

4月に新会社の株式を譲渡する予定。
モビリティ部門の構造改革の一環。レゾナック・オートモーティブプロダクツ(RAP)の関東九州の両事業所と、レゾナックとタイの泰国いすゞ自動車が発行で運営するレゾナック・オートモーティブプロダクツ(タイランド)での製造事業を譲渡する。譲渡対象となる製品はバックドアモジュールのほか、バ

ンパー、リアスポイラーなどの外装部品やインパネなどの内装部品。トイレ向けなどのユニット部品事業は、製造するRAP関西事業所ごとレゾナック本体が吸収、承継する。モビリティ部門では粉末冶金製品や摩擦材など残る事業に注力していく。
森六は北米や東南アジアなどで主に自動車向けに樹脂成形事業を展開している。